

水系浸炭・窒化防止剤 オーパスWBP

取り扱い説明書

【品番】

浸炭防止剤 C-010PN・C-020PN・C-030PN・C-040PN・C-050PN

窒化防止剤 N-110PN・N-120PN・N-130PN

高い ← ← (粘度) → → 低い

【使用方法及び使用上の注意】

1. 表面部が固くなっている場合がありますので、底部よりよく攪拌して使用して下さい。
2. 保管中、使用中に水分が蒸発して、粘度が高くなった場合、工業用水等を使用せず、当社指定の希釈剤を使用して、適切な希釈をお願いいたします。
3. 塗布前のワーク表面はよく洗浄し、汚れや油分のないようにして下さい。
4. 刷毛による塗布の場合は水性用刷毛を使用して下さい。（使用中の刷毛の乾燥を防ぐために水の入った容器に刷毛を浸漬しておいて下さい。
ただし、塗布時には刷毛の余分な水は除いてください。）
5. 塗布、乾燥後、重ね塗りして下さい（ピンホール、塗布ムラ等の作業ミスを防ぐため）。
ディスペンサー及びディッピングによる方法は重ね塗りの必要はありませんが、乾燥・収縮による塗膜に亀裂が発生した場合は、刷毛等で修復して下さい。
※塗布被膜の厚みは0.5～1mm程度が乾燥後の目安です。
6. ワーク温度が高いものに塗布した場合、ワーク温度が下がるとワークが収縮し、部品と被覆剤の間に隙間が生じ、効果が損なわれることがありますのでご注意下さい。
7. 乾燥時間は周囲の環境により異なりますので、適時判断して下さい。
（通常は2～3時間）
8. 塗布完了後は充分乾燥させてから、所定の炉に装入して下さい。
（冷風及び熱風による強制乾燥をさせると、被覆膜がひび割れて十分な効果が得られない場合があります。）
9. 熱処理後は、温水（アルカリ液）の浸漬バブリング、超音波洗浄、シャワー等で除去して下さい。
（参考・・・水温60±10℃で約30分間）

【保管、取り扱い上の注意】

1. 缶は密封して、直接日の当たらない場所に、常温で保管して下さい。
2. 入荷後約3ヶ月以内にご使用ください。
3. ご使用時にはゴム手袋及び保護眼鏡、保護マスクを着用して下さい。
4. 容器からこぼれた時は、布で拭き取って、汚染箇所は水洗いして下さい。
5. 水洗いに使用した水及び洗浄液（当製品を含む）は、しかるべき産業廃棄処理業者にて処理して下さい。
6. 当製品を口に入れないで下さい。万一飲み込んだ場合は吐き出してすぐに医師の手当てを受けて下さい。
また、目に入った場合は、慌てずすぐに流水で洗眼し、医師の手当てを受けて下さい。

詳しくは、MSDSをご参照ください。